

2020年
4-6月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により後退している

●2020年4-6月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

生産動向



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

2020年4-6月期の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同期を下回りました。新車販売台数は、前年同期を下回りました。

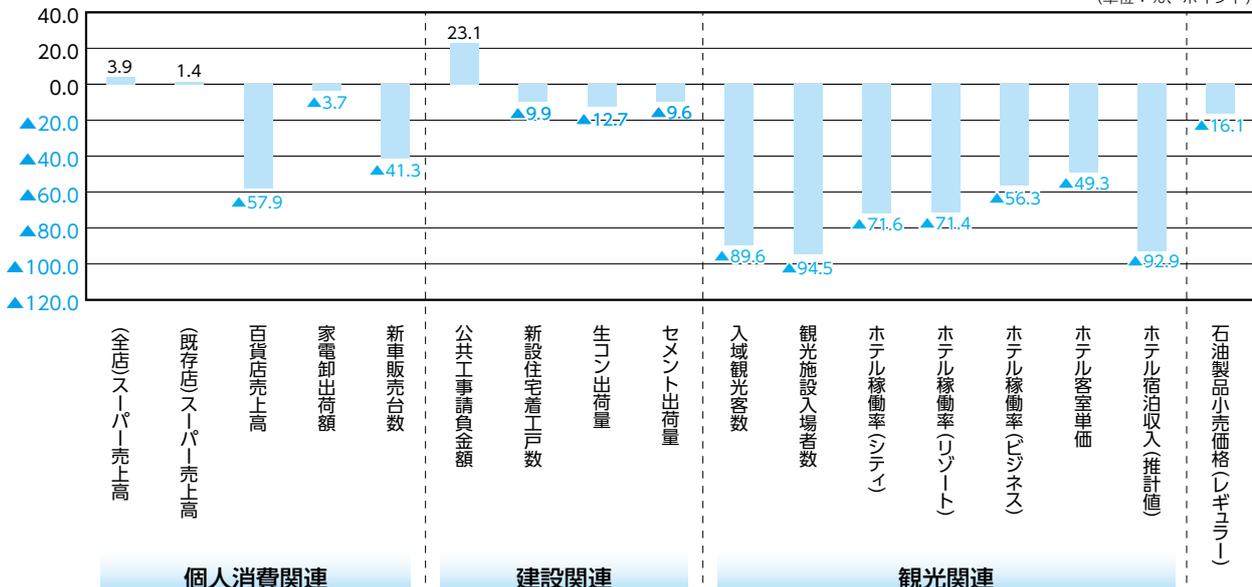
建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村などの発注工事の増加等により前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同期を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は国の緊急事態宣言の実施や新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から航空路線の運休・減便に加え、外国客においても日本への入国制限措置の継続やクルーズ船の運行停止等により前年同期を下回りました。観光施設入場者数も同様に観光客の大幅な減少から前年同期を下回りました。ホテル稼働率についてもシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を下回りました。ホテル客室単価・宿泊収入（推計値）もともに前年同期を下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みがみられる中、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、個人消費に弱さがみられ、観光関連は非常に厳しい状況にあることなどから、「**県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により後退している**」と判断いたしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





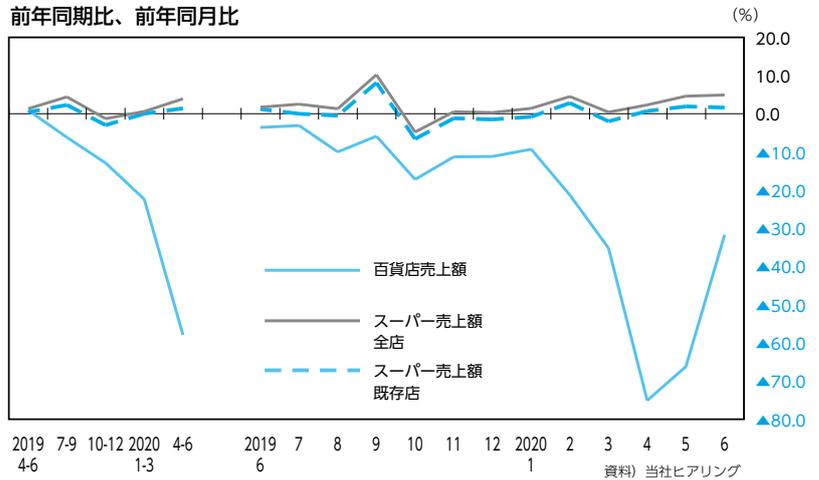
個人消費



(やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を下回る。

2020年4-6月期の個人消費関連は、スーパー売上高は「**全店ベース(前年同期比3.9%増)**」で前年同期を上回りました。品目別では、「衣料品(同19.9%減)」が減少したものの、ウエイトの高い「食料品(同6.9%増)」や、家電やドラッグを含む「家庭用品(同2.2%増)」の売れ行きが好調だったことから、前年同期を上回りました。



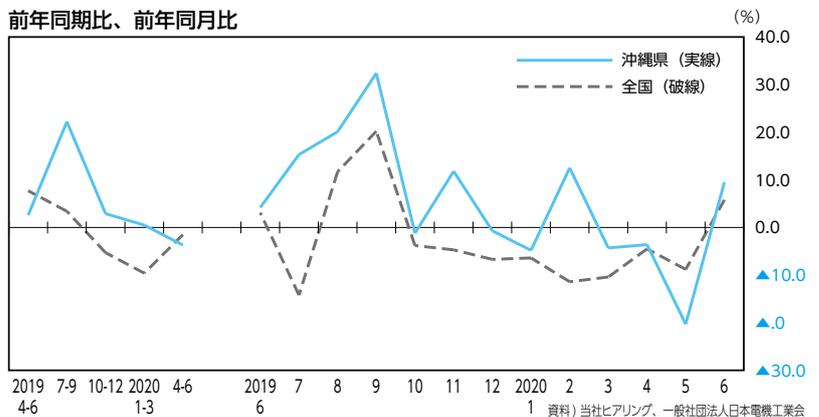
「**既存店ベース(同1.4%増)**」は、

食料品が伸び、前年同期を上回りました。(以下、既存店ベース)品目別では、「衣料品(同24.2%減)」は、新型コロナウイルスの影響拡大により、消費マインドが低下したことに加え、休業、時間短縮営業等もあり、前年同期を下回りました。また、「家庭用品(同3.3%減)」は、衛生用品が伸びたものの、家電等の売れ行きが不調で、前年同期を下回りました。一方、ウエイトの高い「食料品(同5.3%増)」は、新型コロナウイルスの影響拡大により巣ごもり需要が増加し、生鮮食品や、調味料などを中心に、全般的に売上が伸び、前年同期を上回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの影響拡大により、インバウンド需要が大きく減少したことに加え、時間短縮営業や緊急事態宣言の全国拡大に伴う休業要請などにより、前年同期を大幅に下回りました。(同57.9%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同57.4%減)」は、外出自粛等による来店客数の減少や、消費マインドの低下などにより前年同期を下回りました。「雑貨(同67.2%減)」は、インバウンド需要が大幅に減少し、前年同期を下回りました。「食料品(同45.3%減)」は、来店客数が減少し、前年同期を下回りました。

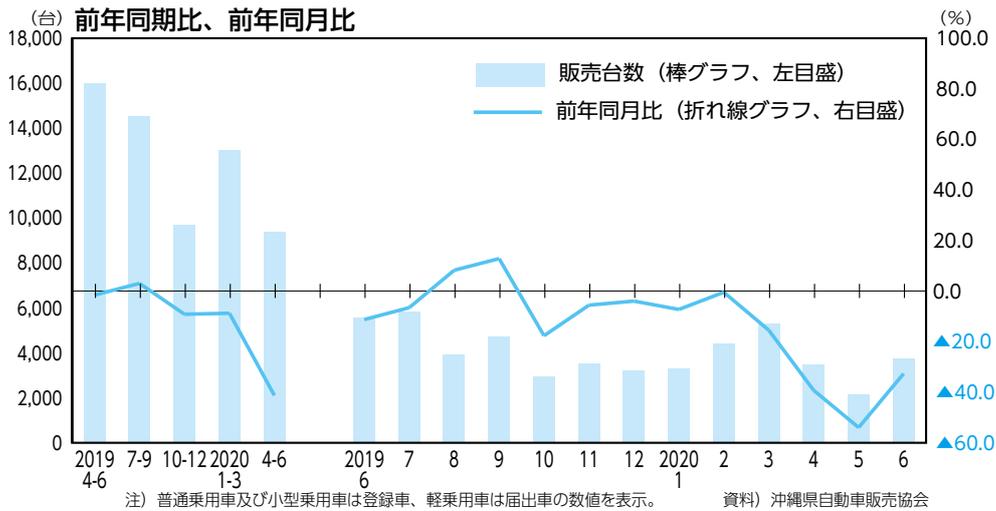
② 家電卸出荷額…新型コロナウイルスの影響拡大により、前年同期を下回る。

家電卸出荷額は、前年同期を下回りました(同3.7%減)。品目別では、「エアコン(同6.0%増)」、「冷蔵庫(同5.1%増)」、「洗濯機(同3.0%増)」は、特別定額給付金の支給による買い替え需要の高まりなどにより、前年同期を上回りました。一方、「テレビ(同17.3%減)」は、新型コロナウイルスの影響拡大により在庫が不足し、前年同月を下回りました。



業務用家電などの「**その他家電(10.0%減)**」は、ホテル等の需要が減少し、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、前年同期を下回る。



新車販売台数は、全体で9,386台（同41.3%減）となり、前年同期を大幅に下回りました。車種別では、「普通乗用車（同44.8%減）」、「小型乗用車（同49.7%減）」、「軽乗用車（同37.4%減）」の全てで、自家用車、レンタカー需要ともに減少し、前年同期を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連 (ふつう)

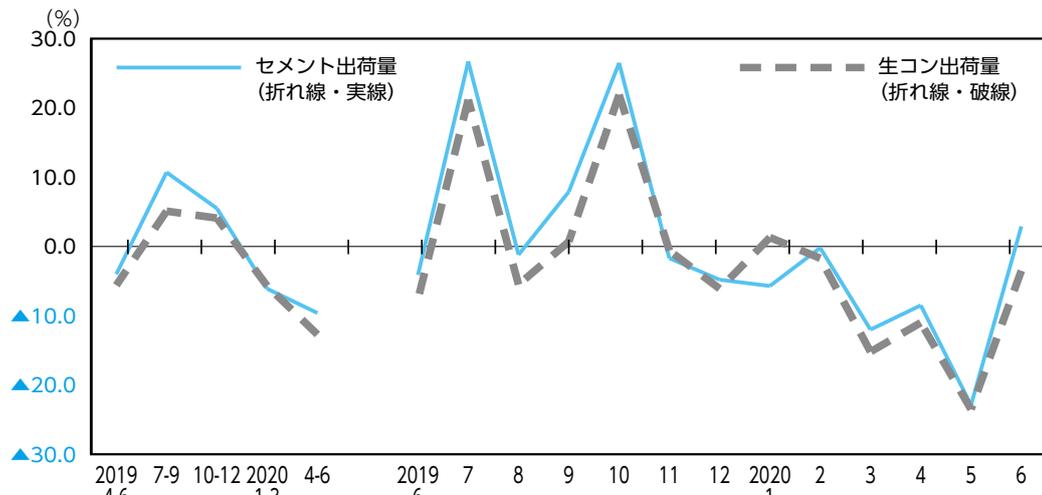
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



2020年4-6月期の公共工事請負金額は、前年同期比23.1%増の723億9,100万円となりました。発注者別でみると、「国（同43.6%増）」や「市町村（同14.9%増）」、「沖縄県（同19.8%増）」や「独立行政法人等（同60.3%増）」は前年同期を上回りました。一方で、「その他の公共的団体（同3.1%減）」は下回りました。



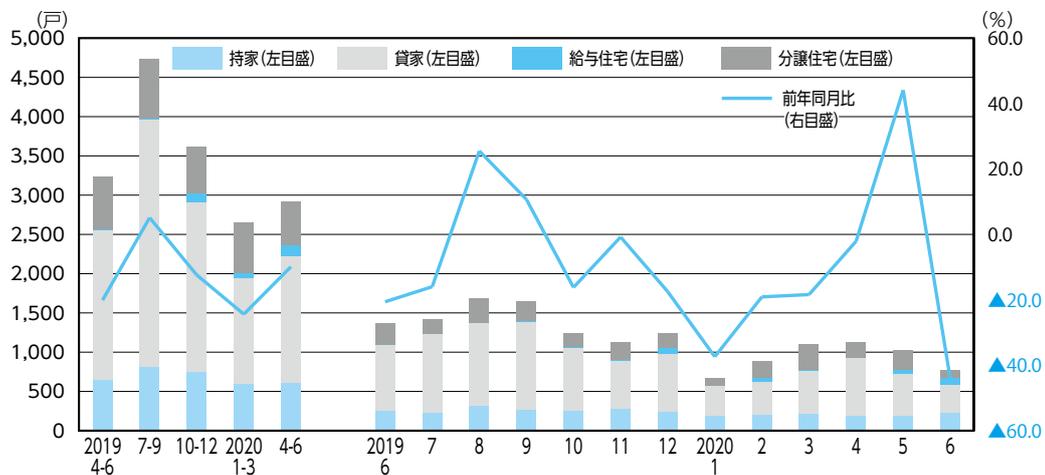
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を下回る。



注) 四半期データについては前年同期比、月次データについては前年同月比を記載している。資料) 当社ヒアリング等による

2020年4－6月期の建設資材関連では、**生コン**の出荷量は12.7%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年同期より13.4%下回り、民間工事向け出荷は12.4%下回りました。**セメント**出荷量は9.6%減と前年同期を下回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。



注) 四半期データについては月次の合算値となっている。注) 四半期データについては前年同期比、月次データについては前年同月比を記載している。資料) 国土交通省「住宅着工統計」

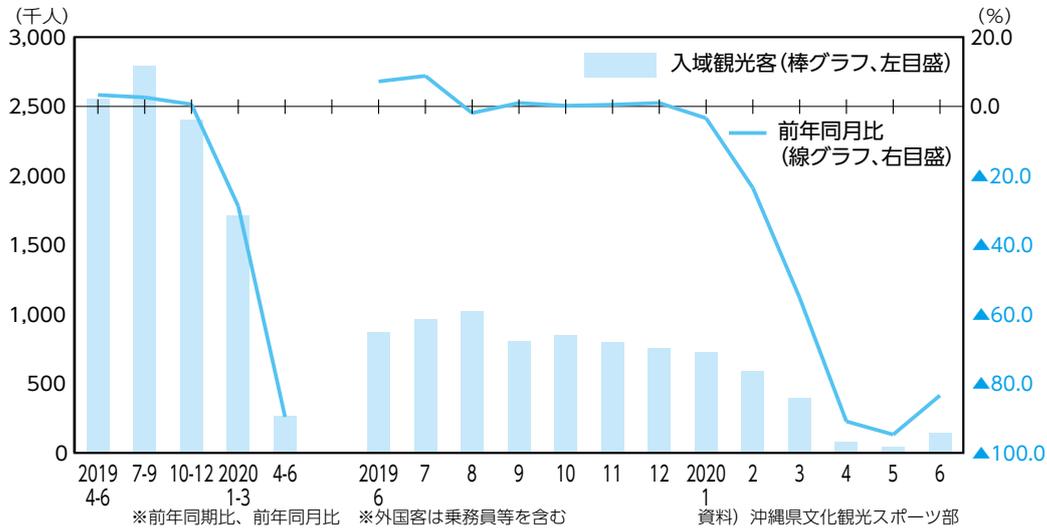
2020年4－6月期の新設住宅着工戸数は、全体で前年同期比9.9%減の2,915戸となりました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家 (同15.6%減)」のほか、「分譲住宅 (同17.5%減)」、「持家 (同6.7%減)」は前年同期を下回りました。一方で、「給与住宅 (同1158.3%増 (約12.6倍))」は上回りました。

観光関連

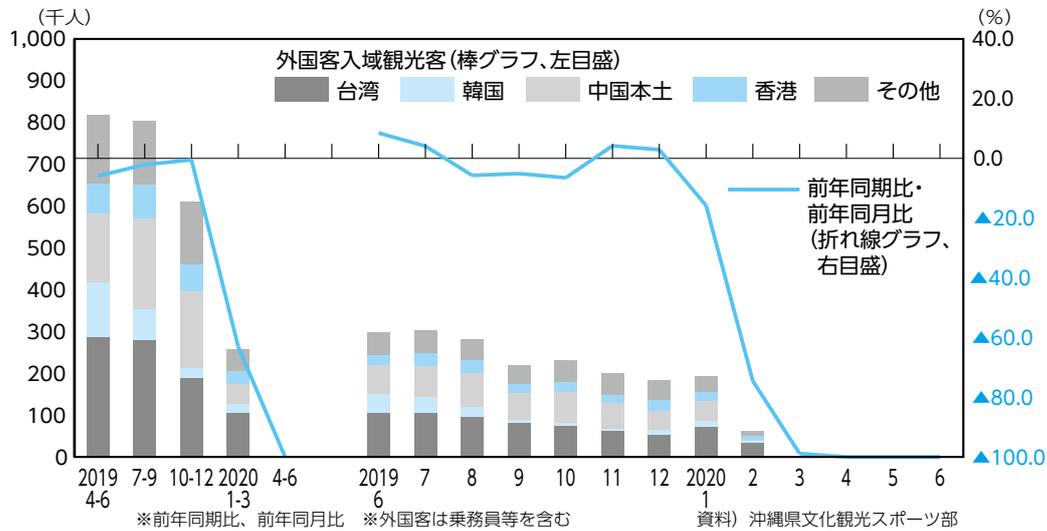


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)… 2 四半期連続で前年同期を下回る。



外国客 入域観光客数… 5 四半期連続で前年同期を下回る。



2020年4-6月期の入域観光客数は、航空便の運休・減便に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から国の緊急事態宣言や全国的な不要不急の旅行自粛要請、全体として前年同期を89.6%下回りました。「国内客(同84.7%減)」においては、上記要因のほか、ゴールデンウィークを含む期間、県知事からも来件自粛を呼びかけたことなどから、東京方面(同82.2%減)や関西方面(同86.5%減)、名古屋方面(同88.7%減)、福岡方面(同83.5%減)などで前年同期を下回りました。

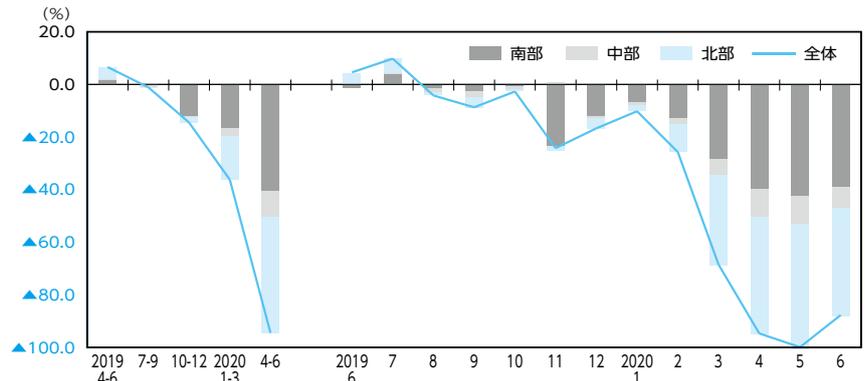
他方、「外国客(同100.0%減)」は、日本への入国制限措置の継続やクルーズ船の運行停止等により前年同期を下回りました。「中国本土(同100.0%減)」や「韓国(同100.0%減)」、「台湾(同100.0%減)」や「香港(同100.0%減)」など、すべての路線で前年同期を下回りました。

※乗務員等を含む数値を掲載



② 観光施設入場者数…各地域において前年同期を下回る。

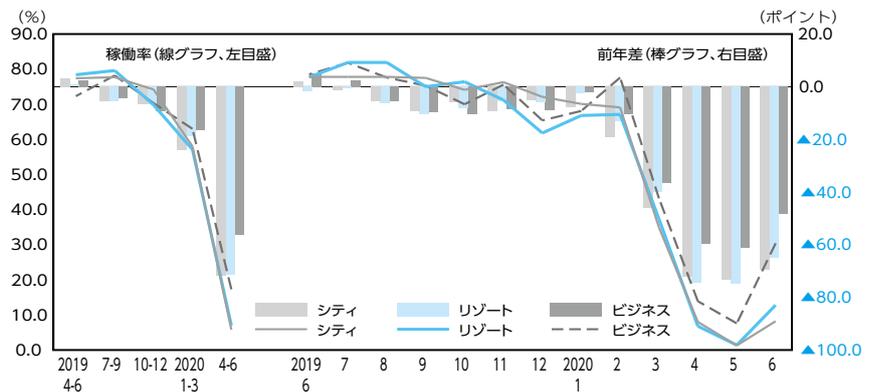
観光施設入場者数は、全体で前年同期より94.5%減少しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同40.3%減、中部は同9.5%減、北部は同44.7%減とすべての地域において前年同期を下回りました。



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。※2019年1月より、中部の対象施設数が変更(6⇒5)となったことから、数値を遡って改定した。※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、数値を遡って改定した。
※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 注) 棒グラフは各地域の寄与度を表している。資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を下回る。

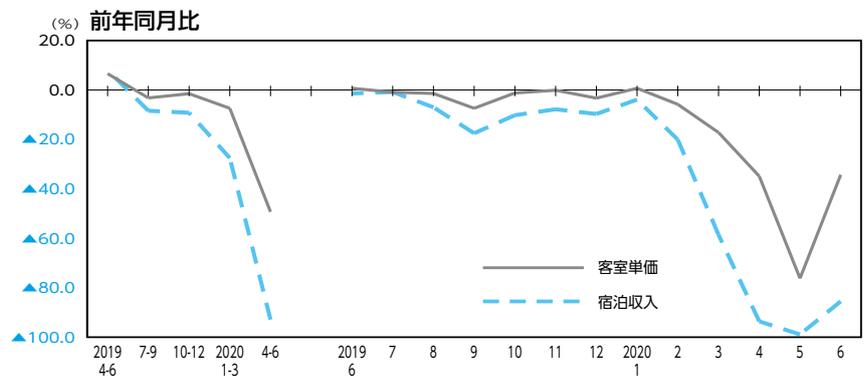
2020年4-6月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが5.8%と前年度差71.6ポイント下降、リゾートホテルが7.0%と同71.4ポイント下降、ビジネスホテルが17.3%と同56.3ポイント下降しました。



注) シティ 8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス6ホテル
注) 2019年3月より、ビジネスホテル対象施設数が変更(7⇒6)となったことから、数値を遡って改定した。
※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同期を下回り、宿泊収入も下回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比49.3%減と前年同期を下回ったほか、宿泊収入も同92.9%減と前年同期を下回りました。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング



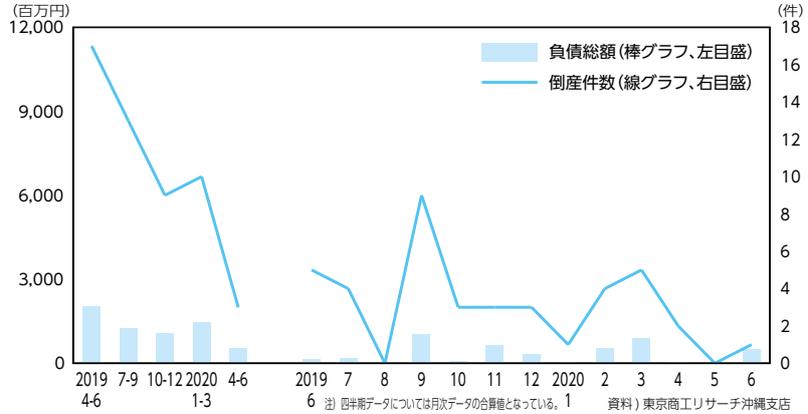
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を下回る。

2020年4-6月期の企業倒産件数は、3件（うち大型倒産（負債総額10億円以上）はなし、大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は1件）となり、前年同期より82.4%下回りました。**負債総額**は5億2,000万円となり、前年同期を74.5%下回りました。



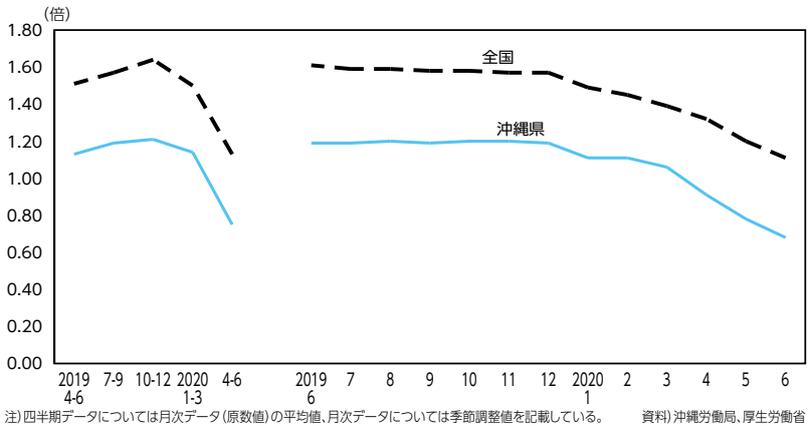
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

2020年4-6月期の雇用状況は、有効求人数（四半期平均）は前年同期比30.5%減の21,158人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比4.6%増の28,249人となり、有効求人倍率（同上）は0.75倍となり前年同期より0.38ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄県、全国はともに前年同期より上昇。

2020年4-6月期の完全失業率（原数値平均）は、3.5%となり前年同期より0.8ポイント上昇しました。

